



「ふくおか地域づくり活動賞」を受賞 地域を守るため松林保全に取り組む

県内で地域づくり活動に取り組む団体の中から選ばれる2024年度の「ふくおか地域づくり活動賞」を、福岡地域郷づくり推進協議会が受賞。県や市民団体でつくる「地域づくりネットワーク県協議会」が毎年県内の団体を表彰していて、中学生ボランティアや地元団体、NPO、事業所らと連携し、17年以上松林保安林の保全活動に取り組んでいることが評価されました。令和6年度事務局長の廣渡策生さんは「今後も他の郷づくりで活動する団体などと歩調を合わせ、玄界灘の松林を残していきたい」と話していました。



▲賞状を持つ廣渡さん

なまずの郷で恒例のイベント開催 多彩な催しに笑顔と感動

なまずの郷の春の恒例イベント「パレット・ピクニック」「ニコニッ子広場」が4月12日に開催されました。親子で楽しむスポーツ体験や「かえっこバザール」、野外音楽祭などが行われました。野外音楽祭では、ロックやゴスペルなどさまざまなジャンルの音楽が演奏され、観客が手を叩いて音楽を楽しんでいました。



▲謎のマネキンが手品を披露しきり付けになる子どもたち

5歳の空手少年が全国大会に出場 九州予選会で兄弟そろって好成績

福岡本部道場空手道柔習會に所属する須田朱宇磨さんが、3月30日に大牟田市で開催された、空手の九州選抜予選会に出場し幼年男子の部で優勝。全国大会への出場を報告するため、4月17日に市長を表敬訪問しました。また、福岡小4年生の兄 明虎白さんも出場し好成績を収めています。



▲左から須田健一さん、明虎白さん、福岡市長、朱宇磨さん

「旧玉乃井旅館」国登録有形文化財登録証伝達式 にぎわいを伝える歴史的建造物

国有形文化財として登録された「旧玉乃井旅館」の所有者である一般社団法人海のほとり玉乃井代表理事の金氣順也さんへ、4月19日に国登録有形文化財登録証が福岡市長から伝達されました。国登録有形文化財登録証を手渡された金氣さんは「藍の家と豊村酒造、玉乃井、この3カ所の国有形文化財を心のよりどころのような基準として、まちづくりに精進していきたい」と話していました。

また、海とまちなみの会主催の建物見学会や長崎総合科学大学工学部の山田由香里教授による記念講演が行われ、一般参加者の皆さんは、写真を撮ったり、メモをとったりしながら、熱心に話を聞いていました。



▲見学会で金氣さんの説明を聞く参加者の皆さん

津屋崎千軒なごみでいちご大福づくり ふわふわな大福で笑顔に

福津の「くわの農園」のあまおうを使用したいちご大福づくりが4月19日に津屋崎千軒なごみで開催されました。キャンセル待ちが出るほど申し込みが殺到したこのイベントは、福津の菓子職人である「菓子舗さ・舟和心味庵工房」の寺嶋さんが講師を務めました。

参加者は、寺嶋さんの話を熱心に聞きながら大福づくりを楽しんでいました。寺嶋さんによると、大福の生地は餅粉と砂糖と水を混ぜ、蒸して作っているそうです。その生地は、参加者が餡やいちごを包み、2種類のいちご大福を作りました。完成したいちご大福はその場で試食。参加した子どもたちは「ふわふわでおいしかった」と満足そうに話していました。



▲楽しそうにいちご大福を作る参加者

読者の皆さんから寄せられた市内の出来事や旬の話題をお届け 街角カメラリポート

公園での散歩やウォーキングが楽しい季節です。市内には、約160カ所も公園があります。今回は、中でも日蔭野地区にある12カ所の公園に着目しました。これらの名称には「きさらぎ公園」といった和風月名が使われています。これは、市民のアイデアをもとに12の月の季節を感じられる「暦公園」として名付けられました。そして公園ごとの名にちなんで植栽をしています。

「しわす公園」には、大きな遊具の他に懸垂ができるベンチ、水飲み場や時計などがあり、憩いの環境が整っています。また、メタセコイアなど季節に合わせた木が植えられています。「きさらぎ公園」で出会った子連れのお母さんは「子どもが電車を見るのが好きだから」とのんびりしていました。皆さんも暦にまつわる植物を探したり、ふかふかの草の上で、

ぐーんと背伸びをしたくなるような時間を過ごしたりしてはいかがでしょうか。(取材協力:市建設課維持管理係)



▲広場や遊具のある「しわす公園」

麦秋の津屋崎里歩きを楽しむフットパス 初夏の景色を楽しみながら

カメラアステージと、津屋崎千軒海とまちなみの会が主催するウォーキングイベント「麦秋の津屋崎里歩きを楽しむフットパス」が5月18日に開催されました。

小学生の親子連れを含む参加者19人は、カメラアステージを出発し、ボランティアガイドの話を聞きながら、津屋崎の里山をのぞむ「在自山・田園ビューポイント」で麦秋風景を眺め、農業用ため池「新堤池」では野の花や水鳥を観察しました。その後、金刀比羅神社参道を折り返し、穏やかな風が吹く中、約3kmを2時間ほど歩き、初夏の自然を満喫していました。



▲ガイドの話を聞きながら色づき始めた麦畑を眺める参加者